

ビジネス
パスファインダー

お役立ち！
白書・年報インデックス



私たちの暮らしに深く関わる〈官公庁〉が発行する「白書」や「年報(年次報告書)」。

あまり馴染みがないかもしれませんが、これらを活用してビジネスに役立つ情報をお伝えします。第1回目は「内閣官房」「内閣法制局」の役割と白書などの刊行物をピックアップします。

The 1st

内閣官房：内閣の補助機関であるとともに、内閣の首長たる内閣総理大臣を直接に補佐・支援する機関です。具体的には、内閣の庶務、内閣の重要政策の企画立案・総合調整、情報の収集調査などを担っています。

内閣官房HPより <https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/index.html>

内閣官房の白書

「水循環白書」(図書館の所蔵はありません)



水循環基本法(平成26年法律第16号)第12条の規定では、政府が水循環に関して講じた施策について毎年国会に報告することになっています。

本法に基づき、水循環の現状と課題や、水循環基本計画に盛り込まれた施策の取組状況を水循環白書の中で報告しています。

情報サイト：内閣官房水循環政策本部事務局HPより

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/mizu_junkan/materials/materials/white_paper.html

内閣法制局：法制的な面から内閣を直接補佐する機関として置かれており、閣議に付される法律案、政令案及び条約案の審査や法令の解釈などの任務に当たっています。

内閣法制局HPより <https://www.clb.go.jp/about/outline/>

内閣法制局の白書はありません(主な業務がいわゆる意見事務と審査事務のため)

オススメの
冊

『公的資料「白書」の読み方』

中茂貴久／著 彩流社 2026.2 (317/¥)

官公庁が作成した白書等資料の中から約60種におよぶ資料を選び、それぞれの資料の意義や主な構成などの概要と、関連資料情報をわかりやすく丁寧に紹介しています。白書を読み解く手助けになります。(本書の中には上記で紹介した「水循環白書」も取り上げられています)



■編集後記■

働きやすい職場は、法律や制度だけではなく、日々のあいさつや声かけ、相手を思いやる気持ち・気遣いの積み重ねでつくられるものかもしれません。今回ご紹介した本との出会いが、よりよい職場環境について見つめ直すきっかけになれば幸いです。(MZ)

次回73号は
11月1日発行予定です

Business Topics Vol. 72



職場のハラスメントと 働きやすさを考える

令和8年10月から改正法(※)が施行されることにより、ハラスメント対策が強化されます。現在、事業主に義務付けられているハラスメント防止対策は、セクハラ・マタハラ・ケアハラ(育児・介護ハラスメント)・パワハラ(4種類)ですが、新たにカスタマーハラスメントと求職者等に対するセクシュアルハラスメントの防止対策が義務付けられることとなります。

この機会に、職場におけるハラスメントや働きやすい職場環境について考えるきっかけとなる本をご紹介します。

(※)労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律(労働施策総合推進法)等

■ビジネス書 新刊PICK UP!



『1行でわかる

IT用語図鑑428』

基本が身に付く+トレンドがつかめる

柳井政和／著 インプレス

2026.6 (007/¥)

ハルシネーション、CMS、シンギュラリティー……、ニュースや会話で出てきても、なんとなくの理解で済ませてしまいがちなIT用語たちを1行で簡潔に解説してくれる1冊です。「打ち合わせ・商談に役立つ」「ニュースがわかる」など、シーン別・用途別に分類されているのも親切です。特に、サーバーセキュリティ用語は現代人の基礎知識としてしっかり理解しておきたいものです。

今号掲載本以外のおすすめ本も

紹介しています。

予約ができるブックリストは

こちらから⇒



■Contents■

【表紙】ビジネス書 新刊PICKUP!

・1行でわかるIT用語図鑑428

【見開き特集】職場のハラスメントと働きやすさを考える

- ・「ハラスメント」の解剖図鑑
- ・ハラスメントがおきない職場のつくり方
- ・職場問題ハラスメントのトリセツ
- ・上司いじめ
- ・カスハラ対策の基本と実践
- ・みんなのネガティブ感情のおてあて
- ・ハラスメント対策の原点

(掲載順)

【4面】ビジネスパスファインダー

お役立ち! 白書・年報インデックス

・公的資料「白書」の読み方

2026年8月1日発行

編集・発行

小牧市中央図書館

0568-73-9951

特集 職場のハラスメントと働きやすさを考える

今号掲載本の予約ができる

おすすめブックリスト

ページはこちらから⇒



ちよつと
ひとしほ♪

KOMAKIベストリーダー

小牧市図書館で、過去3ヶ月間中
最も多く借りられたビジネス書ベスト3をご紹介します！

GROWTH

「脱」でも「親」でもない新成長論
ダニエル・サスキンド／著 上原裕美子／訳
みすず書房

絶対にミスをしない人の 仕事のスゴ技BEST100

鈴木真理子／著 明日香出版社

専門税理士がアドバイスする！ 会社の節税超基本

ベリーベスト／監修
中小企業の黒字化を応援する税理士の会／共同監修
エッサム／著 あさ出版

苦しかったときの話をしようか

ビジネスマンの父が我が子のために書きためた
「働くことの本質」
森岡毅／著 ダイヤモンド社

令和8年4月1日～令和8年6月30日統計

理解を深めるもう一冊



ハラスメント対策の原点 根絶するために

大和田敢太／著
新日本出版社 2025.6 (366.3/オ)

フランス労働法を専門にしている著者が、諸外国のハラスメント対策の実例を紹介しながら、日本のハラスメント政策の現状を明らかにし、対策の在り方を提言します。本書では、日本のハラスメント対策は加害行為の定義を重視した加害者目線の対策に偏っていると指摘しています。被害者の保護と救済の視点を盛り込んだ「ハラスメント対策の10か条」の提言は、安心して働ける職場環境を考える上で、大変参考になります。



Web情報サイト

労働法改正・ハラスメント対策関連のサイトをご紹介します

厚生労働省 雇用環境・均等

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/index.html

労働環境に関する政策・法改正・指針等最新の公的情報を提供しています。

あかるい職場応援団（厚生労働省）

<https://www.no-harassment.mhlw.go.jp/>
ハラスメントの基本情報から裁判事例、法改正の解説まで網羅する、ハラスメントの総合情報サイトです。職場のハラスメント対策啓発用パンフレットやポスター等の資料ダウンロードもできます。

あいちカスハラ防止対策ナビ（愛知県）

<https://no-customerharassment.pref.aichi.jp/>
カスハラ防止対策に取り組む県内企業・団体向けの相談窓口等、企業支援の情報を提供しています。

職場のハラスメントの防止について（愛知県）

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/rodofukushi/harassment.html>
愛知県内企業のハラスメント対策の取組状況や、労働講座・労働相談窓口の情報を提供しています。

「ハラスメント」の解剖図鑑

アウトorセーフの「境界線」と「根拠」がわかる！全48種のハラスメントを完全網羅

宮本剛志／著 誠文堂新光社 2024.8(366.3/ミ)

昨今では耳慣れたパワハラ・セクハラだけでなく、テクハラ・ハラハラ・ジェンハラなど、多様性が尊重される現代社会だからこそ生まれたさまざまなハラスメントについて、具体的な事例を挙げてわかりやすく解説している一冊です。人から言われたもやっとする発言や、無意識にしている自分の行動にも、もしかしたら当てはまる〇〇ハラがあるかもしれません。

ハラスメントがおきない職場のつくり方 ケアリング・ワークプレイス入門

中川瑛／著 大和書房 2023.11(336.3/ナ)

何がハラスメントに当たるのか、身近に起こる曖昧なケースが取り上げられており、良かれと思ってしたことが実はハラスメントになり得るということに気付かされます。元々は看護や介護の領域で使われていた「ケア」「ケアリング」をキーワードにして、職場で起こる個々のニーズに対する具体的な提案をしてくれています。互いにケアし合える関係性は良い仕事にもつながるはずです。

職場問題ハラスメントのトリセツ

窮地の前に自分を守る、取るべきアクションと相談のポイント

村井真子／著 アルク 2025.9(366.3/ム)

160社以上を支援してきた社労士が、ハラスメントを「人間関係の仕組み」から説く1冊です。パワハラ・セクハラや近年注目のSOGIハラ・逆ハラなど、32もの事例を挙げて、加害をしやすい人、加害にあいやすい人それぞれの心理と対処法を客観的に把握することができます。なぜ被害者が場を去らねばならないのかという理不尽も踏まえたうえで、自身を守る選択肢を提示してくれる本書は、自分らしく安全に働くための力強い味方です。

上司いじめ 企業法務弁護士が教える上司のためのハラスメント対応法

國安耕太／著 あさ出版 2024.7(366.3/ク)

パワハラと言えば、上司が部下へ行うイメージが強いですが、部下や後輩からの暴言・嫌がらせに悩む方も増えているそうです。上司という立場上、周りに相談しにくく一人で悩みを抱え込みがち…。本書はそのような「上司いじめ」の特性を踏まえつつ、個人や会社がどのように対応すればよいか、法的根拠を押さえながら解説します。企業法務弁護士である著者が典型的な事例をケーススタディとして示す具体的な対応策や、実際の判例が参考になります。

カスハラ対策の基本と実践

能勢章／著 日本実業出版社 2025.11(673.3/ノ)

法改正により令和8年10月1日から、企業等には雇用管理上カスタマーハラスメントに対して必要な措置を講じることが義務付けられます。本書は企業から公的機関まで、さまざまな現場のカスハラ対策を、具体例を挙げてわかりやすく説明しています。「お客様は神様」という過剰な顧客至上主義が根付いていた時代から脱却し、組織として従業員を守ることを重視するこれらの対策は、雇用する側・される側双方にとって適切な行動の指針となることでしょう。

みんなのネガティブ感情のおてあて 心理的安全性を高めて感情労働がラクになる

井上智介／著 ライフサイエンス出版 2023.12(498.8/イ)

職場では、多かれ少なかれ自分の感情をコントロールしてポジティブにふるまう「感情労働」が伴います。ハラスメントに遭遇し、当たり障りなく対応することもれっきとした「感情労働」にあたります。本書では、職場での感情労働へのストレス対策として、職場の心理的安全性の確保があげられています。さまざまな職種における感情労働の特性を踏まえ、どうすれば心理的安全性の高い職場をつくれるかを解説しています。